

# 感情を知る①



シリーズ～神の知恵～

2019/4/14

# 誘惑の恐ろしさ

---

「彼は罠にかかる鳥よりもたやすく／自分の欲望の罠にかかったことを知らない。」箴言7:23

## ☞ 誘惑に満ちた世界

☞ サタン=誘惑者

☞ 性・金・物・権力・食べ物・娯楽…

## ☞ サタンの手口

☞ 信仰すら言い訳にさせる

☞ 自分には資格があると思わせる

☞ 何もなかったのだ、と思い込ませる

☞ 「後で悔い改めればよい」と言う(T.ブルックス)

# 誘惑から身を守る

---

「誘惑に陥らぬよう、目を覚まして祈っていなさい。心は燃えても、肉体は弱い。」マタイ26:41

❧ できるだけ早い段階で食い止める

❧ 「鳥が頭に飛んでくるのを止めさせることはできないけれど、頭に巣を作るのはやめさせられる。」  
(M.L.キング牧師)

❧ 心を見守る

❧ 「思いが起こるのを止めることはできませんが、その思いを甘やかし増幅させてはいけない」TK

❧ 身を置かない(遠ざける)

❧ 誘惑の結果(霊の破滅)を言い聞かせる

# 全人的に理解する

---

穏やかな心は肉体を生かし／激情は骨を腐らせる。  
(14:30)

☞ 心と体と霊は密接に結びついている

☞ 本来その3つは「総合的に」扱われなければならないが、現代は専門化・細分化されている

☞ 心の病気も単に心だけの病気ではない

☞ 「うつ病は、肉体的原因、感情的なトラウマ、道徳的罪悪感、悪霊との霊的戦いに根ざしている可能性がある」(R.バクスター17世紀)

☞ 「うつ病の原因は、化学的、道徳的、霊的のいずれかに限定されない」TK

# 否定的／肯定的推測

---

心配は人をうなだれさせる。親切な言葉は人を喜ばせる。(12:25)

❧「心配」をなくすことはできない

❧パウロは「神に打ち明ける」なら「神の平安」によって守られる、と言った(フィリピ4:6)

❧箴言は、「親切な言葉」、つまり「寄り添う人が必要」だ、と教えている

❧「希望」によって心は支えられる

❧「希望がなかなか叶えられないのは、人生の常であると理解しておくのは知恵」TK

❧本物の希望は終末まで訪れない

# 一人だけ

---

魂の苦しみを知るのは自分の心。その喜びにも他人はあずからない。(14:10)

☞ あなたの心が分かるのはあなただけ

☞ 「誰もあなたの人生を、あなたが経験したようには経験できない」のだから TK

☞ 他の人の心を理解できると思い込んではいならない(分かった気にならない!)

☞ キリストだけが完全に分かってくださる

☞ 「心を探り、そのはらわたを究めるのは／主なるわたしである。」エレミヤ17:10

☞ 「死への戸口を通る時、イエスだけがあなたの手をとることがお出来になるのです」TK

# 同居する感情

---

笑っていても心の痛むことがあります／喜びが悲しみに終わることもある。(14:13)

❧ 悲劇や悲しみから逃れることはできない

❧ どんなに楽しいことや、お祝い事があっても、悲しいことは必ず訪れる

❧ 相反する感情が同居しまた変化する

❧ 「私たちの気分は反対の気分に影響を受けないでいることは滅多になく、またどれも永久には続かない」キドナー

❧ 「最高に幸せなときでさえ、微かな悲しみが混じり、最も悲しいときでさえ、幸いがほのかに混じっている」TK

# 今日(まで)の結論

---

☞ 心は環境や行いに影響を受ける

☞ 社会・人間関係・生活習慣を点検する

☞ 心は弱いものである

☞ 簡単に「神の代用品」を中心に据えてしまう

☞ 誘惑は避けられないが打ち勝つ策はある

☞ 心は複雑なものである

☞ 他の人の心に寄り添うべきだが、簡単に分かった気になってはならない

☞ 心配と希望、喜びと悲しみなど、相反する感情が同居し、変化し続ける



# 今日(まで)の結論

心は環境や行いに影響を受ける

社会・人間関係・生活習慣を点検する  
見よ、わたしは戸口に立って、たた  
いている。だれかわたしの声を聞いて  
て戸を開ける者があれば、わたしは  
中に入ってその者と共に食事をし、  
彼もまた、わたしと共に食事をする  
であろう。(ヨハネの黙示録3:20)

心配と希望、喜びと悲しみなど、相反する感  
情が同居し、変化し続ける